

主な提言等と回答要旨(乳幼児保護者対象)

提言等の項目	H26秋に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①通学時の送迎バス	子どもがこれから小学校、中学校へと進学していくにあたり、家が学校から離れているため、昨今の不審者などの問題が気がかりである。送迎バスや便利な公共交通機関があると良い。	新たに送迎用のバスを整備するのは難しく、市のコミュニティバスを活用できないか検討いたしましたが、通勤者や電車との接続等を考慮すると、なかなか実現に至らないのが現状です。不審者の問題だけでなく、交通量の多い危険な通学路の問題など、今後総合的に考えていかなければならない問題だと考えています。
②街灯	街灯が少ない、街が暗い気がする。大人でも嫌だと思う道もある。	貴重な意見として頂戴いたします。
③街路樹の剪定	街路樹で標識が見えにくい、枝が電線を挟んでいるところもあり、危険である。見通し良く剪定してほしい。	担当課に指示し、迅速に対応いたします。
④空き家	近所に空き家が多い。所有者の問題もあり難しいと思うが、不審者などの隠れ場所になり危険だ。どう考えているか。	滑川市に限らず、全国の地方都市が直面している課題であり、固定資産税を上げるなどの対策が考えられます。また、市が寄付を受けるという制度もありますので、この制度の拡大なども検討してまいります。
⑤ネブタ流し	山手の方では知らないという人が多い。地元では若い体力、時間のある人材の確保が難しい。山手の人から人材を募集して参加してもらうことはできないか。	各町内ごとに保存会があります。新たな保存会として、全部でまとまった保存会の提案をしています。今年は公民館、寺家小学校の参加もありました。いろんな方々が加わって、相互に交流ができるとよりよいと思います。
⑥ネブタ流し	意味があるのはわかるが、7月31日にこだわらず、その週の週末にできないか。	保存会に相談するなど、かかわっている方々が中心になってできるよう応援していきたいと思います。